

障がい等地域支援ブロック会議報告(令和3年3月～令和3年7月)

資料 3

月	参加機 関数 (うち来 場事業 者数)	参加 者数 (うち 来場 者数)	担当機関名	事例タイトル	検討項目	意見	課題
3	28 (12)	29 (12)	アークス山口	就労事業所における医療 との関係	就労事業所での医療との連携にお ける取組状況について	・看護師が就労現場に訪問し、メンタルケアすることで利用 者の就労定着につながる ・事業所職員の業務負担削減につながる	
4	28 (18)	37 (25)	障害福祉課	事業所交流会	WEBでのグループワークの試行 事業所紹介 コロナ禍での取組等の情報交換	・コロナ感染予防対策のため、病院や施設に訪問できない ため、入院、入所者の状況確認が難しい。 ・電話相談は増加。相談があれば感染対策をしたうえで訪 問等の対応をしている。 ・短期入所等感染予防のため一部サービスが利用できな い。	
5	-	-		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。			
6	25 (6)	30 (7)	バンビ	【事業所紹介】 児童発達支援と放課後等 デイサービスの療育につ いて	【感染予防対策のためWEBのみで 開催】 児童デイサービス・バンビの取組 み紹介 障害児支援に関する意見交換	・日中の放課後等デイサービス等の場合は増えているが、家 庭生活の部分を支えるところが整備されていない。 ・保護者の急な入院等緊急時に児を預かってもらえる所が 少ない。 ・児童の発達を支援するためには、支援者の意欲だけでは なくアセスメントなど技術的なことも重要。 ・関係機関(園、学校、医療機関、相談事業所、行政等)と の連携が必要。	
7	24 (20)	30 (25)	パレット ハウス	障害児に関わる関係機 関の連携について	・関係機関に相談支援専門員を理 解してもらうためにどうしたらよい か。 ・関係機関との連携 ・担当者会議の開催	・相談支援専門員の役割が理解されていないため、園や学 校との連携が取りにくい。 ・関係性の良い人(地区担当保健師等)を介すると関係性 が取りやすい。 ・足を運び顔を合わせることでお互いの役割や専門性を理 解しあうことが大切。 ・顔が見える関係ができるとスムーズに連携が取れるよう になる。 ・教育と福祉と違いはあるが、児の成長発達のための支援 を一緒にしていきたいという姿勢が大切。 ・相談支援専門員は支援者の困り感を受け止め保護者との 橋渡しをすると受け入れてもらいやすい。 ・相談支援専門員の役割を分かりやすく説明できるツール も必要。 ・相談支援専門員は市が指定した事業者の専門職といった 公的な立場であることが分かるようにすると関係機関に安 心感を与える。 ・担当者会議開催時に出席しやすい場所、時間の設定が 必要。	・相談支援専門員の役割の周知 ・教育、医療、福祉等の関係機関 との連携